

# 「第12回産業日本語研究会・シンポジウム」の開催について

令和2年12月

産業日本語研究会世話人会

顧問：長尾 眞	(京都大学名誉教授)
代表：井佐原 均	(豊橋技術科学大学)
委員：辻井 潤一	(産業技術総合研究所)
橋田 浩一	(東京大学)
隅田 英一郎	(情報通信研究機構)
柏野 和佳子	(国立国語研究所)
李 在鎬	(早稲田大学)
長部 喜幸	(日本特許情報機構)

## 開催趣旨：

### サイバースペースにおける産業日本語

#### ～新しい生活様式でのコミュニケーションに向けて～

産業日本語研究会では、産業・科学技術情報の発信力強化や知的生産性の向上を通じて、わが国産業界全体の国際競争力強化に資するような、人間が理解しやすく機械が処理しやすい日本語（「産業日本語」）のあり方を研究しています。この「産業日本語」の研究は、明瞭な日本語文の作成、高品質な翻訳文の作成コスト低減などにつながるものです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークを始めとするリモート化やデジタル化の流れが一気に加速し、新しい生活様式の時代が到来しました。面と向かっての会話が難しい状況では、相手に情報を伝達するためのドキュメントや、そのドキュメントにおける内容伝達の正確性はより重要となっています。

また、オンライン通信等のサイバースペースでのコミュニケーションにおいては、これまでの日本語コミュニケーションにとらわれない、新しいコミュニケーション手法が必要となるのかもしれませんが、反対に、新しいオンライン・コミュニケーション手法が、従来の日本語に影響を与える可能性も考えられます。

このような背景のもと、今回のシンポジウムでは、サイバースペースにおける産業日本語の在り方、そして、新しい時代の中で形を変えていく日本語に関する最新の知見やトピックス等を広くご紹介いただきます。本シンポジウムが、産業日本語の更なる普及につながり、我が国産業界に大いに貢献できる機会になることを期待しております。

産業界、学术界などからの、多くの皆さまのシンポジウムへのご参加をお待ちしております。